

標準施工要領書

水性軽モル

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

TEL 048 (297) 4111

1. 特長

- 水で混練する1材型補修材
- 水を加える量によって、粘度調整可能
- シンナーを使用せず施工できる
- 下地が乾いていなくても施工できる

2. 下地について

- コンクリート、モルタルの欠損、爆裂が対象です。
- 塵埃、土砂等の汚れは、清掃、水洗いしてください。

3. 工程表

工程	材料名	調合	使用量 (kg)	施工器具
処 理 地	清掃・ケレン	—	—	ブラシ類 刷毛
り 下 塗	防錆プライマー※	100	0.3	刷毛
・ 塗 練 布	水性軽モル	100	1	計量カップ 保護手袋
	水	27～30	0.27～0.3	

※下塗り工程は爆裂鉄筋部では必須工程とする。欠損時は水打ち後下擦りでも施工可能。

詳しくは4. 施工方法に記載。

4. 施工方法

4-1 下地処理

- 施工箇所の脆弱部分をはつり取り、塵埃等を刷毛、ブラシ等で取り除き、清掃します。
- 鉄筋腐食部のケレンを十分に行い、清掃します。

4-2 下塗り

- 爆裂鉄筋部に対しては、防錆プライマーを塗布します。
- 塗布量は300g/m²を目安とします。
- 欠損部に対しては水打ちを十分に行います。その後下記混練した粘性の材料で下擦りを行います。

※防錆プライマーを使用しても問題ありません。

4-3 混練

- 水性軽モル100部に対して、清水27部から30部で混練します。
- 爆裂、欠損部の厚み、広さに合わせて混練水量を変えて、混練物の粘度を調整します。

※最終的な粘度調整は、手でこねながら行うと適正な粘度に調整しやすいです。

4-4 埋め戻し、成形

- 欠損部で防錆プライマーを塗布していない場合は、下地に水打ちされていることを確認し、下地の凹凸にすり込むように、指先で入念に下擦りを行い、追っかけで埋め戻します。
- 爆裂部で防錆プライマーを塗布している場合は、プライマーが乾燥する前(約15分以内)に施工します。
- 材料を下地の凹凸に食いつかせるように圧力をかけながら充填します。
- 補修箇所を覆うように大きめに充填した後、金ゴテ、ヘラ等で余剰分を切り取り、表面を成形します。
- 施工後70分程度で硬化します。(気温20℃)

5. 施工上の注意

- 既調合品なので水以外は加えないください。
- 硬化時間は気温により変化しますので、ご注意ください。夏(35℃)は、混練後30分程度で硬化します。冬(10℃)は、130分程度となります。
- 手で施工する場合は、必ずゴム製等の水等が浸みこまない保護手袋を着用してください。材料はアルカリ性が強いので、肌荒れ、炎症のおそれがあります。
- 作業時に粉体を吸い込まないようにしてください。眼に入らないようにしてください。必要に応じて保護マスク、保護メガネを着用してください。
- 内容物や容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託してください。

6. 荷姿

材 料 名	入 目
防錆プライマー	0.5kg 缶入り
水性軽モル	1L 缶入り
	9L 缶入り
	14L 缶入り